



613-001560 Rev.D 110906



最初にお読みください

CentreCOM® ARX640S リリースノート

この度は、CentreCOM ARX640S をお買いあげいただき、誠にありがとうございました。
このリリースノートは、取扱説明書とコマンドリファレンスの補足や、ご使用前にご理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。
最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

1 ファームウェアバージョン 5.0.1

2 本バージョンで追加・拡張された機能

ファームウェアバージョン 5.0.0 から 5.0.1 へのバージョンアップにおいて、以下の機能が追加・拡張されました。


2.1 サポートする USB 型データ通信端末の追加

下記の USB 型データ通信端末をサポートしました。

- ・ NTT ドコモ L-05A
- ・ イー・モバイル D26HW
- ・ ソフトバンク C02HW (データ通信 (A) 定額 USIM カード使用時のみサポート)

なお、サポートする USB 型データ通信端末の最新情報は、弊社ホームページでご確認ください。

2.2 show device usb コマンド

 **参照** 「コマンドリファレンス」 / 「運用・管理」 / 「システム」

USB デバイスの情報を表示する show device usb コマンドが追加されました。詳細はコマンドリファレンスをご覧ください。

2.3 ipv6 nd ra-interval コマンド

 **参照** 「コマンドリファレンス」 / 「IPv6 ルーティング」 / 「近隣探索」

ルーター通知 (RA) パケットの送信間隔を指定する ipv6 nd ra-interval コマンドに、最小送信間隔を指定する第 2 のパラメーター (省略可) が追加されました。詳細はコマンドリファレンスをご覧ください。

3 本バージョンで修正された項目

ファームウェアバージョン 5.0.0 から 5.0.1 へのバージョンアップにおいて、以下の項目が修正されました。

3.1 mobile access-point-name コマンドで「pdp-type ppp」を指定しても、初期設定の「pdp-type ip」のまま動作していましたが、これを修正しました。


3.2 show mobile signal-strength コマンドを実行すると、まれに PPP インターフェースがアップしなくなることがありましたが、これを修正しました。


- 3.3 show mobile signal-strength コマンドの実行時に USB 型データ通信端末を抜き差しするとレポートすることがありましたが、これを修正しました。
- 3.4 show mobile signal-strength コマンドで電波強度が正しく表示されないことがありましたが、これを修正しました。
- 3.5 PPP インターフェース関連の設定を変更すると、まれに PPP インターフェースの経路が無効になることがありましたが、これを修正しました。
- 3.6 clear counters コマンドで PPP インターフェースを指定しても、PPP に関連するカウンタがクリアされませんでした。これを修正しました。
- 3.7 本製品が EtherIP トンネルインターフェース経由で ARP パケットを送信しようとするるとレポートすることがありましたが、これを修正しました。
- 3.8 PPPoE、IP フィルター、IP NAT の併用構成で高負荷の通信を行うと、まれにシステムがハングアップすることがありましたが、これを修正しました。
- 3.9 ダイナミック DNS クライアント機能において、external-interface コマンドで指定したインターフェースの IP アドレスを、ダイナミック DNS サーバー宛てのパケットに含めていませんでしたが、これを修正しました。
- 3.10 IPsec において、ペイロードサイズが 2048 Byte を超える ESP パケットを復号化できませんでしたが、これを修正しました。
- 3.11 下記ログメッセージのレベルを notice (レベル 5) から informational (レベル 6) に変更し、初期設定の buffered ログには記録されないようにしました。
ISKMP[228]: Negotiation canceled for never initiate policy

4 本バージョンでの制限事項

ファームウェアバージョン 5.0.1 には、以下の制限事項があります。


4.1 show crashlog コマンドと show tech-support コマンド

 「コマンドリファレンス」 / 「運用・管理」 / 「システム」

 「コマンドリファレンス」 / 「運用・管理」 / 「コマンドラインインターフェース」


show crashlog コマンド、show tech-support コマンドの出力を CLI のリダイレクション機能 (>, >>, | redirect) でファイルに保存することができません。これらのコマンドの出力をファイルに保存するには、通信ソフトウェアのログ機能などをご使用ください。


4.2 LCP Configure-Request の再送間隔

 「コマンドリファレンス」 / 「PPP」

LCP Configure-Request パケットの再送間隔が lcp timeout コマンドの設定値より短くなっています。

4.3 BVI インターフェース

 **「コマンドリファレンス」 / 「ブリッジング」**

 **「コマンドリファレンス」 / 「IPルーティング」 / 「IPインターフェース」**

BVI インターフェース（ブリッジグループ全体を表す仮想的なインターフェース）では DHCP クライアント機能（ip address dhcp コマンド）を使用できません。

4.4 DHCP サーバー

 **「コマンドリファレンス」 / 「IP 付加機能」 / 「DHCP サーバー」**

DHCP サーバー機能を使用するときは、リレーエージェントを使わないネットワーク構成を組んでください。本製品の DHCP サーバーはリレーエージェント経由の DHCP Discover メッセージに回答しないため、リレーエージェント配下の DHCP クライアントは本製品の DHCP サーバーから IP アドレスを取得できません。

5 取扱説明書の補足・誤記訂正

取扱説明書（613-001384 Rev.A）の補足および誤記訂正です。

5.1 未サポート機能

 **「取扱説明書」 13 ページ**

特長欄に掲載されている下記の機能は未サポートです。

- ・ IPv4 over IPv4 トンネリング
- ・ IPv4 over IPv6 トンネリング
- ・ IPv6 over IPv4 トンネリング（IPv6 トンネル接続）
- ・ IPv6 over IPv6 トンネリング

5.2 INIT スイッチによる USB メモリーからのリストア

 **「取扱説明書」 45 ページ**

INIT スイッチを使ってバックアップファイルをリストアするときは、USB メモリーにリストア対象のバックアップファイルだけを入れてください。USB メモリーに複数のバックアップファイルが保存されていると、どのファイルがリストアされるかわからないためです。

5.3 サポートする USB 型データ通信端末

サポートする USB 型データ通信端末につきましては、弊社ホームページでご確認ください。

6 取扱説明書とコマンドリファレンスについて

最新の取扱説明書（613-001384 Rev.A）とコマンドリファレンス（613-001491 Rev.B）は弊社ホームページに掲載されています。本リリースノートは、上記の取扱説明書とコマンドリファレンスに対応した内容になっていますので、お手持ちの取扱説明書・コマンドリファレンスが上記のものでない場合は、弊社 Web ページで最新の情報をご覧ください。

※バージョン「613-001491 Rev.B」は、コマンドリファレンスの全ページ（左下）に入っています。

<http://www.allied-telesis.co.jp/>